

2023年6月21日(水)

令和4年度の政策評価等の実施状況及びこれらの結果の政策への反映状況に関する報告に対する質疑(案)

立憲民主・社民 小沢雅仁

## はじめに

立憲民主・社民の小沢雅仁です。私は、ただいま報告がありました令和4年度、2022年度の政策評価等の実施状況及びこれらの結果の政策への反映状況に関する報告について、会派を代表し、質疑を行います。

参議院の行政監視サイクルのスタートとなるこの本会議も4回目を迎えました。行政監視機能の充実と政策評価の進展に積極的に取り組んできた本院において、こうした取り組みが積み重ねられてきたことは喜ばしい一方で、我々の行政監視活動や、よりよい政策の実現・追求に終わりはありません。

昨今の政府の活動を見ても、マイナンバー制度をめぐる多発するトラブル、国交省OBによる民間企業人事介入、不適切な予算執行や無計画な少子化対策など深刻な問題が山積しています。立法府として、こうした問題をきちんと監視・改善していくとともに、政策の立案・評価や行政の在り方といった根本的なテーマについても議論し、よりよい立法と行政を実現していくことは、我々の責務であることを改めて強く申し上げ、質疑を行います。

## 政策評価制度

### 【政策の特性に応じた評価等】

①はじめに、先ほど報告のありました政策評価制度について伺います。近年、政策評価制度については、政策評価審議会による複数の提言や

基本方針の変更、「アジャイル型の政策立案・評価」など大きな方針転換が行われていると聞いています。

キーワードとなっているのが、「無謬(むびゅう)性神話からの脱却」です。複雑困難な課題に対応するため、機動的かつ柔軟な政策展開が必要であるとして、新たな挑戦や前向きな軌道修正を積極的に行うことが望ましいとされています。

そうした方針を踏まえ、政策評価制度では画一的・統一的な制度運用を転換し、政策の特性に応じた評価手法の導入、意思決定過程での評価の活用等を推進するとしています。しかし、そうした取り組みはこれまでの枠組みでも十分可能だったはずです。

これまで政策の特性に応じた評価や意思決定過程等での評価の活用がなされてこなかった要因とそれらの具体的な実現方策について、総務大臣に伺います。

#### 【国民からの行政への信頼】

②また、政府が言う「無謬性神話からの脱却」とは一体なんのでしょうか。「行政は間違いを犯してはならない、あるいは、現行の制度や政策は間違っていない」、行政がこうした無謬性神話にとらわれず、政策の改善や挑戦を行っていくことは重要ですが、単に失敗してもよいというわけではなく、より一層の説明責任が求められるはずです。

そもそも「無謬性神話からの脱却」などと言えるほど、行政は国民からの信頼を得られているのでしょうか。複数の調査で、国民からの政府への信頼が低いことが明らかになっているほか、国民からの行政に関する苦情や意見を受けつけている総務省の「行政相談」には、毎年10万件以上の相談がきています。

無謬性神話を脱却した行政は、国民に対するより丁寧な説明や対応により、国民の信頼を得ていく必要があるのではないのでしょうか。

政府の言う「無謬性神話からの脱却」の意味と政府の説明責任の在り方について、総務大臣に伺います。

【行政評価局の調査テーマ】

③政策評価制度の方針転換を受け、政策評価を所掌する総務省行政評価局にも変化が起きています。行政評価局の業務の運営方針を定める「行政評価等プログラム」において、毎年度公表されていた向こう3年間の調査テーマが、昨年度から公表されなくなったのです。昨年の本会議では、環境の変化や行政課題をより迅速に調査テーマに反映させるためテーマは随時決定することとした旨の説明がありました。

迅速な調査テーマの決定・着手は重要である一方、無計画は、行政の透明性確保や計画的・効率的な行政運営という観点からは適切とはいえません。また、政府として長期的な視野から取り組むべきテーマもあるのではないのでしょうか。

調査テーマの決定・着手を計画性と柔軟性を持ったより適切な形に見直す必要性について、総務大臣に伺います。

【行政評価等プログラムの公表】

④また、これまで年度当初までに行われていたこの行政評価等プログラムの策定・公表が、今年は5月8日までなされませんでした。業務の運営方針が1か月以上定まらないまま活動する行政組織があってよいのでしょうか。行政運営の計画性や透明性、活動の事後的な評価という観点からも問題があり、評価を担う組織の姿勢としても不適切と考えます。

行政評価等プログラムには、政策評価法で毎年度策定が義務づけられている「総務省が行う政策の評価に関する計画」も含まれています。この点では、政府が政策評価法や計画、プログラムといったものを軽視しているともとられかねません。行政評価等プログラムの策定・公表も含めて計画的に実施されるべきです。

令和5年度、2023年度の行政評価等プログラムの公表が遅れた理由と今後の在り方について、総務大臣に伺います。

【緊急時の評価の在り方】

⑤この政策評価についての本会議が始まった令和2年、2020年はちょうど新型コロナウイルス感染症への対応が始まった時期でもありました。この異例の感染症に対し、政府においても異例の対応が数多く行われ、本会議や行政監視委員会でも政府の対応の評価・検証の必要性や在り方が議論されてきました。

昨年の本会議では、コロナ禍においてマスクの転売規制等の事前評価が間に合わなかった事案等を挙げ、緊急時の規制の評価の在り方についてお伺いしました。総務大臣からは、こうした事態が発生した際の評価の在り方について対応を整理していく旨の答弁があったと記憶しています。

その後、対応は整理されたのでしょうか。緊急時の規制の評価、また、感染症や災害といった甚大な外部要因が発生した場合の政策評価の在り方とその検討状況について、総務大臣に伺います。

マイナンバー制度

【マイナンバー制度をめぐるトラブル】

⑥先日、いわゆるマイナンバー法改正案が可決・成立しましたが、マイナンバー制度をめぐるのは深刻なトラブルが後を絶ちません。マイナ保険証に別人の情報が登録されるミスやコンビニにおける戸籍証明書等の誤交付、マイナポイントの付与誤りなどが数多く発生し、国民に被害がおよぶとともにシステム停止や総点検など医療現場や地方自治体にも大きな負担をかけています。

こうした失策が相次ぐ原因と国民や医療現場、地方自治体等に大きな負担をかけていることについて、どのようにお考えでしょうか。デジタル大

臣に伺います。

⑥-2また、こうしたトラブルが続く中、政府は2026年に仕様を変更した新しいマイナンバーカードを発行することを明らかにしました。もしシステムが堅牢で安定しているなら仕様の変更など必要なく、拙速に変更すればさらなるトラブルに見舞われかねないようにも思います。

この、にわかに浮上してきたマイナンバーカードの変更について、それが新たなトラブルや現場への負担、さらなるコスト増につながる懸念等について、デジタル大臣に伺います

【マイナンバー制度の再考】

⑦こうした状況の中でも政府は構わずマイナンバーカードの利用範囲の拡大等を進めています。制度やシステムはますます複雑化し、今後もトラブルが多発することが容易に想像され、行政への信頼も失われるばかりです。

立憲民主党としても、真に国民生活に資するマイナンバーの効果的な活用を進めることは必要だと考えています。しかし、国民の信頼なくして制度は成り立ちません。マイナンバー制度については、一度立ち止まり、複雑な制度設計や政策の在り方・進め方について、考え直す必要があるのではないのでしょうか。

マイナンバー制度見直しの必要性について、デジタル大臣の所見を伺います。

国土交通省 OB による民間企業人事介入問題

【政府による全容解明】

⑧マイナンバーと同様に行政の信頼を失わせている事案として、国土交通省OBによる民間企業人事への介入問題があります。官僚OBによる

民間企業人事への介入が許されないのはもとより、一層深刻なのは、政府による事態の全容解明が進まないことです。

国土交通省の人事情報の外部への提供といった重要な事実は、民間の独立検証委員会により明らかにされました。国会においても再三、全省調査等の必要性が指摘されているにもかかわらず、政府はごまかすように小規模な事実確認を小出しで行っているだけです。これでは国民の疑念を払拭することはできず、政府の危機管理や説明責任の観点からも問題です。

国土交通省OBによる民間企業人事介入問題に係るこれまでの対応の反省と今後の対応方針について、国土交通大臣に伺います。

## 国土強靱化

### 【会計検査院の検査結果】

⑨次に、政府の重要政策である国土強靱化について伺います。

先月、会計検査院が「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について、検査結果を公表し、閣議決定の記載内容外使用が明らかとなりました。3か年緊急対策の根拠となる閣議決定等に明記されていない内容の事業が少なくとも3212件行われ、672億円以上の予算が支出されています。緊急輸送道路ではない道路において景観向上のための無電柱化が行われるなど、問題のある事例が散見されます。

こうした明らかに問題のある事例が指摘されているにもかかわらず、担当である内閣官房の国土強靱化推進室は、閣議決定等において示されている内容以外を実施してはならないことにはなっていない、などと説明しています。

こうした国土強靱化対策閣議決定の記載内容外使用について、どう対処されるのか、国土強靱化担当大臣に伺います。

### 【内閣官房の政策に対する政策評価】

⑩また、昨年の本会議でも指摘したとおり、内閣官房は政策評価法の対象になっておりません。昨年の総務大臣の答弁では、内閣官房の担う内閣の重要方針は高度に政治的な判断などにより決定されるものであり、その妥当性については基本的に国会等の場において議論されていることがその理由として挙げられました。

しかし、内閣官房に各種本部等を設けて総合調整している政策や府省横断的な政策課題といった、内閣の重要政策である「より上位の政策等」については増加しているところであり、内閣の重要方針こそ政策評価を行うべきではないでしょうか。内閣の重要方針とされる政策には通常、巨額の予算や人員がさかれます。政府にはより一層の説明が求められるとともに、その取り組み状況や成果も客観的に評価されるべきです。

今回の国土強靱化の会計検査でも、取りまとめを行うべき内閣官房が3兆6790億円にも及ぶ予算の実際の支出額を把握していないことや、年次計画における目標管理などに問題があることが明らかとなっています。

総務省は政策評価制度の質の向上を目指し、調査研究等を行っていますが、すでに2017年に『政策体系のより上位の政策等』への政策評価の活用等に関する調査研究報告書をまとめています。内閣官房の行う国土強靱化をはじめとする重要政策に対する政策評価の在り方と、そもそも内閣官房を政策評価法の対象とする必要性について、総務大臣に伺います。

### 子ども・子育て政策

#### 【異次元の少子化対策の予算と財源】

⑪現在の政府の最重要政策の一つは子ども・子育て政策です。政府は

「次元の異なる少子化対策」として多くの政策を打ち出し、3.5兆円の予算が組まれる見込みとのこと。他方で、その裏付けとなる財源確保の目処は立っていません。

裏付けのない予算規模ありきの政策立案は無責任です。EBPMの観点からもまずこれまでの政策の検証を行い、真に必要で効果的な政策は何かを判断すること、そして、その財源をきちんと確保することが政府の責任ではないでしょうか。

なぜ予算を突然 3.5 兆円にまで膨らませながら、財源の確保を年末まで先送りにしたのか。子ども・子育て政策で想定される予算規模の内訳とその根拠、さらに財源の確保策とその実現目処について、小倉内閣府特命担当大臣に伺います。

#### 【予算の目的外使用等】

⑫このような予算規模ありきの政策立案が、先ほど指摘した国土強靱化をはじめとする政府の重要政策・目玉政策における予算の目的外使用や便乗計上につながっているのではないのでしょうか。コロナ関係予算や地方創生でも会計検査院からの指摘や多数の報道があったことは記憶に新しいところです。子ども・子育て政策も「異次元」の名の下に目的外使用や便乗が懸念されます。

子ども・子育て政策において予算の目的外使用や便乗計上、議論やエビデンスなき政策立案・執行があってはならないと考えますが、小倉内閣府特命担当大臣の認識とそうした事態を防ぐための方策について伺います。

以上、参院としての行政監視の取り組みの新たな1年間のサイクルの出発点にあたって、いくつか課題を含めて質問させていただきました。行政監視委員会のさらなる活動充実への決意を申し上げ、私の質問を終わります。ご静聴ありがとうございました。

令和5年6月21日

**参議院 本会議**

令和4年度政策評価等の実施状況及びこれらの結果の政策への反映状況に関する報告に対して（要旨）

立憲民主・社民 小沢雅仁

○政策評価

①政策の特性に応じた評価等

- ・これまで政策の特性に応じた評価や意思決定過程で評価の活用がなされてこ  
なかつた要因とそれらの具体的な実現方策について **【総務大臣】**

②国民からの行政への信頼

- ・政府の言う「無謬性神話からの脱却」の意味と政府の説明責任の在り方につい  
て **【総務大臣】**

③行政評価局の調査テーマ

- ・調査テーマの決定・着手を計画性と柔軟性を持ったより適切な形に見直す必  
要性について **【総務大臣】**

④行政評価等プログラムの公表

- ・令和5年度 2023年度行政評価等プログラムの公表が遅れた理由と今後

の在り方について

【総務大臣】

⑤緊急時の評価の在り方

- ・ 昨年の本会議ではコロナ禍においてマスクの転売規制等の事前評価が間に合わなかった事案等を挙げ緊急時の規制の評価の在り方についてお伺いしました。その後、対応は整理されたのでしょうか。緊急時の規制の評価、また、感染症や災害といった甚大な外部要因が発生した場合の政策評価の在り方と

検討状況について

【総務大臣】

○マイナンバー制度

⑥マイナンバー制度をめぐるトラブル

- ・ 失策が相次ぐ原因と国民や医療現場、地方自治体等に大きな負担をかけていることについて

【デジタル大臣】

⑥-2

- ・ にわかに浮上してきたマイナンバーカードの変更についてそれが新たなトラブルや現場への負担、さらなるコスト増につながる懸念等について

【デジタル大臣】

⑦マイナンバー制度の再考

- ・ マイナンバー制度見直しの必要性について

【デジタル大臣】

## ○国土交通省OBによる民間企業人事介入問題

### ⑧政府による全容説明

- ・国土交通省OBによる民間企業人事介入問題に係るこれまでの対応の反省と  
今後の対応方針について

【国土交通大臣】

## ○国土強靱化

### ⑨会計検査院の検査結果

- ・国土強靱化対策予算の目的外使用についてどう対処されるのかについて

【国土強靱化担当大臣】

### ⑩内閣官房の政策に対する政策評価

- ・内閣官房の行う国土強靱化をはじめとする重要政策に対する政策評価の在り  
方とそもそも内閣官房を政策評価法の対象とする必要性について

【総務大臣】

## ○子ども・子育て政策

### ⑪異次元の少子化対策の予算と財源

- ・なぜ予算を突然3.5兆円にまで膨らませながら財源の確保を年末まで先送

りしたのか。子ども・子育て政策で想定される予算規模の内訳とその根拠さらには財源の確保策とその実現目処について 【小倉内閣府特命担当大臣】

⑫予算の目的外使用等

- ・子ども・子育て政策において予算の目的外使用や便乗計上、議論やエビデンスなき政策立案・執行があってはならないと考えます。大臣の認識とそうした事態を防ぐための方策について

【小倉内閣府特命担当大臣】